**ハンドマイク街頭演説原稿例　豪雨災害・新型コロナ・買収事件**

二〇二〇年七月一〇日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日は、この場所をお借りして、日本共産党の政策をお話しさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

　九州地方に降り続く記録的な豪雨は、熊本県を中心に６０人を超える死者を出すなど甚大な被害を発生させました。犠牲になった方々にお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。私たち日本共産党は災害対策本部をただちに設置し、各地で被災者支援に力を尽くしているところです。

　今回の豪雨では、熊本県の球磨川（くまがわ）が決壊し、広い範囲にかつてない被害が発生しています。停滞した梅雨前線の影響で被害はさらに広がる可能性があります。着の身着のままで避難所にたどりついた人たちも少なくありません。水や食料の配布、医療的ケアなど被災者への物心両面での支援は待ったなしです。新型コロナへの警戒が求められるなか、複合災害にふさわしい従来にない積極的な支援を国に強く求めていきます。

日本共産党はいま、全国で被災地への救援募金を呼びかけています。党がお預かりした募金は、日本共産党の政治活動のための資金とは区別し、すべて被災者の救援のために使わせていただきます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

　みなさん、東京都で連日、２００人を超える新たな感染者が判明するなど、新型コロナの感染拡大はきわめて深刻です。埼玉県内でも、感染者が急増しています。国は感染状況の情報をしっかりと開示するとともに、東京都とただちに協議をして実行ある感染防止措置を実施すべきです。感染拡大防止のために、日本共産党は、地域や業種を限定し、徹底した補償と一体にさまざまな自粛要請を検討するよう求めていきます。

　みなさん、今回のコロナ危機で、医療体制や公衆衛生の脆弱（ぜいじゃく）さが明らかになりました。埼玉でも、この間、保健所が大幅に減らされ、職員も削減されてきました。深刻な医師不足の克服も大きな課題です。日本共産党は、経済効率を最優先に、「自己責任」を押し付けてきた新自由主義の政策を転換します。県民みんなが支え合い、医療・福祉の充実で一人ひとりの人権と尊厳が守られる社会を実現していきます。

　みなさん、選挙買収の疑いで前法相の河井克行容疑者と妻の案里容疑者が起訴されました。１億５千万円もの自民党の資金提供と選挙買収の関連が国政の一大焦点となっています。安倍首相と自民党の政治責任がいよいよ強く問われています。安倍首相は、責任を痛感しているなら、ただちに辞職すべきです。日本共産党は、他の野党と力合わせ、徹底した真相究明に力を尽くします。

　最後に、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の購読をお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）